

14.5
929

〔新潟国民職業指導所〕業務概要 昭和十五年

同所編



0037029-000

14. 5-929

〔新潟国民職業指導所〕業務概要

新潟国民職業指導所・編

新潟国民職業指導所

昭和15年

昭和16

AGF

14.

929

昭和十六年十月刊行

昭和十五年業務概要

新潟國民職業指導所

昭和十五年業務概要

目次

一、沿革及管内ノ概況	一
(一) 沿革	一
(二) 耕地及人口	二
(三) 業種別戸數	四
(四) 縣外出稼者數	六
(五) 就業状況	九
(六) 勞務供給状況	〇
(七) 月別取扱數	七
(八) 業種別取扱數	〇
(九) 求職者及就職者市町村別數	二〇
(一〇) 縣外就職者數	二三
三、各部業務ノ概況	二六
(一) 卷出張所取扱數	二六
(二) 少年職業紹介	二七
(三) 中等學校卒業者職業紹介	三二
(四) 歸郷軍人及傷痍軍人就職斡旋	三四



- ④ 職業補導.....三五
- イ、製園工補導.....三五
- ロ、外地求職者事務(支那語)補導.....三七
- ⑤ 失業對策.....三八
- イ、一般失業狀況.....三八
- ロ、事變關係轉業狀況.....三八
- ① ラジオ放送.....四〇
- ② 就職者旅客運賃割引證交付數.....四一
- ③ 勞務者補導員活動狀況.....四一
- ④ 勞務動員計畫ノ遂行.....四一
- ⑤ 國民登錄及勞務規制.....四四
- ① 國民登錄.....四四
- ② 從業者移動防止.....四六
- ③ 勞務動態調査.....四七
- ④ 青少年雇入制限令.....四八
- ⑥ 庶務.....五一
- ① 市町村事務擔任者及聯絡委員會.....五一
- ② 聯絡委員.....五二
- ③ 所報ノ發行.....五三

- ④ 入營者職業保障法届出狀況.....五三
- ⑤ 勞務供給業供給延人員.....五三
- ⑥ 新潟國民職業指導所昭和十五年度豫算.....五四
- ⑦ 廳内異動.....五五

一、沿革及業務の概況

(一) 沿革

新潟國民職業指導所は昭和十三年四月一日法律第六十一號職業紹介法の施行と同時に新潟職業紹介所の名稱で昭和十三年七月一日新潟市に設置せられたる新潟市西堀通三番町八百七番地の五番新潟市職業紹介所建物を新潟市より借受け即日業務を開始す事務取扱範圍は一般職業紹介業務にして管轄區域を新潟市、西蒲原郡、中蒲原郡、東蒲原郡の一市三郡と定めらるる職員の定員は主事一、技師一、主事補一〇、雇六、計一八にして處務の便宜上中蒲原郡新津町及西蒲原郡巻町に各出張所を開

昭和十三年十一月十九日新潟縣職業紹介所の増設せらるゝに伴ひ中蒲原郡新津町に職業紹介所を設置せらるゝことゝなり管轄區域中蒲原郡及中蒲原郡新津町外二十五ヶ町村は同所の管轄に屬せしめられたり

職員の定員も其の後國民職業能力申告に關する事務、國民徵用に關する事務、従業者移動防止令に關する事務取扱のため現在主事一名、技師一名、主事補一五名、雇員一六名、嘱託二名、計三五名となつて居る

巻出張所の位置は當初西蒲原郡農會事務所の一部に設けたるが昭和十三年十二月巻町の中心地巻町大字巻甲二、九一〇番地に移轉せり

昭和十六年勅令第百十三號職業紹介所官制中改正の件施行に伴ひ、名稱も新潟國民職業指導所と改稱せられたり

由來管内は米産國越後平野の大部を占め、従つて新潟市、燕町等の工業都邑を除けば専ら米作を主とする純農村で、而も耕地反別割合に多く縣下他村に比し餘剩勞力は甚だ僅少で、隨て軍需勞務要員を管内より供出するに當りては非常の努力を必要とし、今後この方面の充足には絶大なる努力を拂はなければならぬものと豫測される。

管内に於ては商業、工業は總て新潟市を中心に集中し、燕町に於ける金屬工業と共に之等必要勞力は從來容易に地元より補給されたが、現在に於ては昔日の夢と化し充足に困難となつた。

(二) 月別取扱數 昭和十五年

月別	求人數		求職者數		就職者數		就職率%
	男	女	男	女	男	女	
一月	五八〇	四六八	三〇五	一二六	二二四	六五	六五
二月	八六四	四九七	二〇八	八七〇	五二二	一三〇	七四
三月	三四五	二〇六	一九九	四八〇	二七六	一六三	九〇
四月	一七三	二〇三	四四四	一、五七六	一、〇〇三	三八六	八八
五月	四〇三	二六〇	一四七	四三七	二六一	六八	七五
六月	二六八	二八三	一三五	三七〇	一八五	七七	四九
七月	四三四	二六二	一〇一	四四三	一五二	六三	四九
八月	九九六	二八一	一一一	五九五	二九五	五七	五九
九月	二四二	一〇九	一四九	六四四	三七〇	七六	六九
十月	七三〇	三三三	二二八	六九六	二九四	一一一	五九
十一月	四二七	二四六	三五九	一、五六八	六八四	一九四	五六
十二月	一、七〇〇	七八七	六五二	一、七八四	七二一	八三	四四
合計	七、一五二	三、九三五	二、八六九	九、八九四	四、九六七	一、四八三	六八
昭和二年	一〇、三〇五	四、六五三	一、三六八	五、九七四	三、一七五	八五九	六五
昭和三年	二、三七五	一、四七七	六四八	二、五八〇	五一五	二二四	二八

分類	一月 求人數		一月 求職者數		一月 就職者數	
	男	女	男	女	男	女
工業及建築業	三六七	二四九	二四九	五四	一九〇	三九
土木建築業	二八	一	一四	一	四	一
商業	八九	二五	五	六	三	三
農林業	一	一	一	一	一	一
水産業	二	一	一	一	一	一
通信業	一九	五	一	一	一	一
運輸業	一四	三七	七	二五	六	一
雑業	三九	一五二	一三	四〇	七	九
合計	五八〇	四六八	三〇五	一二六	二二四	六五

分類	二月 求人數		二月 求職者數		二月 就職者數	
	男	女	男	女	男	女
工業及建築業	五四五	三〇四	二三七	八七	一八四	七三
土木建築業	一〇五	一	八	一	一	一
商業	二二	一八	四	四	四	一
農林業	一	一	一	一	一	一
水産業	一	一	一	一	一	一
通信業	三〇	五〇	三三四	一	二八六	一
運輸業	一	一	一	一	一	一
雑業	二	三	三	一	二	一
合計	二二	四三	八	二八	二二	一一

分業類
 工業及建築業
 土木建築業
 商業
 運輸業
 雜業
 合計

五月
 求職者數
 男 二五二
 女 一五八
 計 四一〇
 就業者數
 男 二五二
 女 一五八
 計 四一〇

六月
 求職者數
 男 一三六
 女 六八
 計 二〇四
 就業者數
 男 一三六
 女 六八
 計 二〇四

七月
 求職者數
 男 一三六
 女 六八
 計 二〇四
 就業者數
 男 一三六
 女 六八
 計 二〇四

分業類
 工業及建築業
 土木建築業
 商業
 運輸業
 雜業
 合計

三月
 求職者數
 男 一六八
 女 一二四
 計 二八二
 就業者數
 男 一六八
 女 一二四
 計 二八二

四月
 求職者數
 男 一〇〇
 女 一三七
 計 二三七
 就業者數
 男 一〇〇
 女 一三七
 計 二三七

五月
 求職者數
 男 一〇〇
 女 一三七
 計 二三七
 就業者數
 男 一〇〇
 女 一三七
 計 二三七

一三

一一

業 工
 六 六 六 六 六 六
 電 船 機 機 機 機
 氣 船 械 械 械 械
 瓦 車 具 具 具 具
 新 輔 具 具 色 機 糸 類

大分類
 小分類
 業 別

男 女 計
 三三三 三三三 三三三
 三三三 三三三 三三三
 三三三 三三三 三三三
 三三三 三三三 三三三
 三三三 三三三 三三三
 三三三 三三三 三三三

男 女 計
 三三三 三三三 三三三
 三三三 三三三 三三三
 三三三 三三三 三三三
 三三三 三三三 三三三
 三三三 三三三 三三三
 三三三 三三三 三三三

男 女 計
 三三三 三三三 三三三
 三三三 三三三 三三三
 三三三 三三三 三三三
 三三三 三三三 三三三
 三三三 三三三 三三三
 三三三 三三三 三三三

一七

(三) 業態別取扱數

昭和十五年

分 類
 工 業 及 建 築
 土 木 建 築
 商 業
 農 業
 水 産 業
 運 送 業
 通 信 業
 戶 内 用 業
 雜 業
 合 計

十二月
 男 女 計
 五九四 四七七一、〇二六
 二八四 二八 一一 六一
 二八 二八 三二 六一
 二六〇 二六〇 四八 六一
 二六〇 二六〇 二六〇 六一
 一九九 八 一一 六一
 一五五 一三 一一 六一
 一七〇 一八 一一 六一
 六〇五 七六二 一八 六一
 一、七〇〇 七八七、二四八七

男 女 計
 五九三 一九二
 三〇 二六
 三〇 二六
 一七〇 二八六
 三〇 二六
 一七〇 二八六
 三〇 二六
 一七〇 二八六
 三〇 二六
 一七〇 二八六
 三〇 二六

男 女 計
 四七六 三四
 四 六
 一〇七 一〇
 一〇七 一〇
 一〇七 一〇
 一〇七 一〇
 一〇七 一〇
 一〇七 一〇
 一〇七 一〇
 一〇七 一〇
 一〇七 一〇

十二月

分 類
 工 業 及 建 築
 土 木 建 築
 商 業
 農 業
 水 産 業
 運 送 業
 通 信 業
 戶 内 用 業
 雜 業
 合 計

十一月
 男 女 計
 二〇三 二二二
 三〇 三三
 三〇 三三
 三〇 三三
 三〇 三三
 三〇 三三
 三〇 三三
 三〇 三三
 三〇 三三
 三〇 三三
 三〇 三三

男 女 計
 九三五 一八九一、二二四
 三〇 三三
 三〇 三三
 三〇 三三
 三〇 三三
 三〇 三三
 三〇 三三
 三〇 三三
 三〇 三三
 三〇 三三
 三〇 三三

男 女 計
 五二六 一四七
 二 二
 二 二
 二 二
 二 二
 二 二
 二 二
 二 二
 二 二
 二 二
 二 二

十一月

分 類
 工 業 及 建 築
 土 木 建 築
 商 業
 農 業
 水 産 業
 運 送 業
 通 信 業
 戶 内 用 業
 雜 業
 合 計

男 女 計
 五九六 二六九
 七三 三五
 七三 三五
 七三 三五
 七三 三五
 七三 三五
 七三 三五
 七三 三五
 七三 三五
 七三 三五
 七三 三五

男 女 計
 三三七 一七六
 一三 二
 一三 二
 一三 二
 一三 二
 一三 二
 一三 二
 一三 二
 一三 二
 一三 二
 一三 二

男 女 計
 二二七 九六
 二 二
 二 二
 二 二
 二 二
 二 二
 二 二
 二 二
 二 二
 二 二
 二 二

一六

蒲原郡																				
蒲			西			郡原														
和	津	米	吉	栗	地	國	岩	浦	岸	松	角	赤	内	坂	龜	兩	曾	島	大	石
納	山	納	田	生	藏	上	彦	室	濱	濱	野	野	田	井	田	川	野	屋	形	山
津	津	津	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂
村	村	村	町	町	町	村	村	村	村	村	村	村	町	村	町	村	村	村	村	村
二七	四二	四五	四三	二八	四五	五二	四三	七〇	二一	二八	二五	六七	二七	二二	五一	二二	二二	六八	九〇	
二二	一一	一四	一三	三二	七六	九〇	三四	一四	五五	三九	五二	三二	二〇	七	八三	一六	二〇	二二	三四	
四九	五四	五九	五六	六〇	五二	五八	五二	八〇	二五	二二	六六	二七	八三	一四	三三	一〇	九〇	一二	二四	
一五	三七	四一	三一	二八	二二	四八	三二	六四	一九	一六	六二	二九	二〇	三五	二〇	三〇	三〇	六七	六七	
一三	一〇	一四	三二	四六	九九	九九	三三	一四	五四	三九	二九	二九	一八	二八	一六	二二	二〇	一一	一一	
二八	四七	五五	三四	六〇	二六	五四	四一	七三	二二	三〇	一六	六八	二二	六四	一三八	三六	七九			

中	大	江	山	村	業										人用使				
					合	小	天、其	天、娛	天、理	天、理	天、外	天、醫	天、事	天、教	天、官	天、小	天、其		
七	九	七	一	一	七〇	一〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
七	九	七	一	一	七〇	一〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
七	九	七	一	一	七〇	一〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
七	九	七	一	一	七〇	一〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
七	九	七	一	一	七〇	一〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
七	九	七	一	一	七〇	一〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
七	九	七	一	一	七〇	一〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
七	九	七	一	一	七〇	一〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
七	九	七	一	一	七〇	一〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

(四) 求職者及就職者市町村別數

就職先道府縣別		東京		京都		愛知		神奈川		滋賀		福井		茨城	
職別		工業		商業		農業		林業		水産		工業		農業	
計		計		計		計		計		計		計		計	
11	10	154	128	152	151	124	113	103	118	118	118	118	118	118	118
11	10	154	128	152	151	124	113	103	118	118	118	118	118	118	118
11	10	154	128	152	151	124	113	103	118	118	118	118	118	118	118
11	10	154	128	152	151	124	113	103	118	118	118	118	118	118	118

(5) 縣外就職者數 昭和十五年

新		郡		原	
管		外		市	
計		計		計	
8,690	710	3,982	1,843	5,825	2,749
3,502	163	873	766	3,515	1,449
9,894	873	2,749	766	3,515	1,449
4,967	384	1,449	1,171	2,749	1,171
1,483	65	766	3,515	1,449	1,171
6,450	449	1,171	1,171	1,171	1,171

合	其 ノ 他	南 洋	支 那	滿 洲	北 海 道	神 大
一、三二五	一七	一五	二九 二五 二	七 二五 二九 一 一五	四八 一	二八
三五四			八 八	三〇 〇四 六	二 六 六	
一、六七九	一七	一五	三七 二 三 三 二	一〇 一三五 四 三七 一 一五	四九 三 六	二八

大	千	青	富	朝	靜	福	靜	石	岐	三	廣	福
阪	業	森	山	鮮	岡	岡	馬	川	阜	重	島	島
通	工	水	工	通	農	工	土	工	工	工	工	水
信	業	業	業	計	業	業	業	業	業	業	業	業
運	及	產	及	計	及	及	及	及	及	及	及	計
輸	續	業	業	輸	林	續	木	業	業	業	業	業
業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業
三		一七		二〇 二八	一	四七	一八 二六	一	一			四六 三四 二
	二		三				九 九	五	三	一	一	
三	二	一七	三	二〇 二八	一	四七	二七 二五	六	四	一	一	四六 三四 二

其	信	五〇	一	五〇	一四三	七六	二二九	一四三	七六	二二九
計	他	一一〇	九〇	二二〇	一三三	一九五	三二八	一三三	一九五	三二八
備考	一、就職地別数左の如し	一、二六七	五六〇	一、八二七	一、一九四	五一一	一、七〇五	一、一九四	五一一	一、七〇五

管内就職者数	一、〇一〇	四五三	一、四六三
管外就職者数	一四五	五八	二〇三
外地就職者数	三九	一	三九
計	一、一九一	五一一	一、七〇五

尙兒童の就職後の輔導は戦時生産力確保の立場よりするも、又一面明春卒業兒童就職斡旋の成果にも深き影響あるを以て左の如く就職兒童全員に對し夫々適切なる指導をなした。又一方雇傭主に對しても就職兒童の育成訓練、保健衛生方面に特に留意するやう依頼する等輔導に努めたり。

昭和十五年三月卒業就職兒童輔導狀況

種別	輔導人員	末
通信輔導	一、七〇五名	八月管内、管外、就職兒童ニ對シテ一齊ニ通信輔導文ヲ發送スルト共ニ就職狀況調査ヲ各人ニ記入セシメ回報ヲ求ム
訪問輔導	一、三〇六名	八月二十日ヨリ三十日迄ノ間ニ於テ福井、愛知、神奈川ノ三縣ニ亘ル本縣出身兒童ニ對シテ現地輔導ヲ實施ス、輔導實施工場數三十一工場、又管内就職兒童ニ對シテハ隨時訪問ノ上輔導ヲ加フ

乙 昭和十六年三月卒業兒童に對する分

昭和十六年三月卒業兒童に對する職業指導並に職業相談の實施、之に伴ふ就職斡旋に關しては一層國家的要望に添ふべき適職配置を計るの要あり、即ち小學校卒業者職業紹介に關する取扱要領に基き、取扱方法の合理化と強化とに依る割當制の適正化と、之が完全充足の徹底の爲一段の努力を拂へたり。

イ、職業指導

1. 新規に卒業すべき兒童の指導に直接の關係ある管内小學校の職業指導擔任訓導を、二班に分ち招集し職業指導研究會を實施せり。

一、指導項目

1. 少年職業指導實務取扱方ニ付テ
2. 醫學的職業指導 附身体測定ニ於テ
3. 智能検査及適性検査實習

二、參會者

- 第一班 八月十七日 新潟國民職業指導所分室 二〇名
- 第二班 八月十九日 卷小學校 二四名

當所長、技師、少年係之が説明指導に當る。尙未出席小學校に對しては「パンフレット」其の他關係文書を參考として送附せり。

2. 七月より十月迄の間に於て所長、技師、係員等關係小學校に出張し、左記項目に付き新規卒業見込兒童を指導せり。

(イ) 性能検査

1. 一般智能検査
2. 特殊性能検査

(ロ) 職業指導ニ關スル講話

1. 兒童ニ對シ現下ノ時局、適職ノ重要性等ニ關シ約一時間位ニテ話ス
2. 父兄ニ對スル時局認識、勞務動員計畫ノ趣旨、適職配置ノ重要性等ニ關シ一時間位ニテ話ス

(ハ) 職業指導ニ關スル映畫會

- 擔任訓導及父兄、卒業兒童ニ對シ行フ
- 開催回数 六〇回
- 集合兒童數 三、〇〇〇名
- 集合父兄數 一、二〇〇名

昭和十六年三月卒業児童求人状況

管外求人	368	男
管内求人	562	男
外地求人	970	男
計	1900	男
管外求人	128	女
管内求人	372	女
外地求人	505	女
計	1005	女
計	2905	計

(三) 中等學校卒業業者職業紹介

昭和十五年三月中等學校卒業業者の就職状況は左の通なるが

職業別	本籍	管外	管内	外地	計
農業	282	182	105	81	650
林業	2	2	2	2	8
商業	336	252	237	172	1000
運輸通信業	31	25	22	13	91
土木建築業	36	25	22	13	96
公務自由業	12	9	6	3	30
家事	2	2	2	2	8
その他	263	161	144	107	675
計	1933	1264	1174	895	4002

右の内就職者の職業別調左の通

性別	農業	林業	商業	運輸通信業	土木建築業	公務自由業	家事	その他	計
男	131	1	73	69	4	33	1	4	327
女	151	1	77	33	4	18	1	4	327
計	302	2	150	102	8	51	2	8	654

而して之が就職の経路は當時未だ職業紹介機關の手配届かさざりし爲此の多くは學校の紹介若くは縁故に依て就職し紹介所の紹介に依りたる者男一〇女一〇に過ぎず。

乍然中等學校卒業生と雖重點配置は極めて緊要なるを以て、昭和十六年三月卒業者に付ては文部厚生兩次官の通牒に依り之が職業指導並職業紹介に關する取扱要領制定せられたるを以て之に基き學校當局と密接なる聯絡を保ち方針の徹底に努めたり。

イ、打合せ會

九月二十日關係中等學校擔任教諭ノ參集ヲ得本年度卒業業者ノ取扱ニ付協議ス

ロ、職業講話及職業相談
所長以下各學校ニ出張シ生徒ニ對シ職業講話ヲ行ヒ更ニ十一月七日ヨリ十九日迄ノ間職業相談ヲ行ヒ各人ニ付適職相談ニ努メタリ。

ハ、求人數及求職者數左表ノ通り

昭和十六年三月中等學校卒業業者求人數

産業別	管内		管外		計
	男	女	男	女	
軍需産業	49	55	82	12	198
生産力擴充及附帯産業	130	16	21	1	167
輸出産業・生活必需品産業	4	1	2	1	8
運輸通信業	134	31	27	6	198
土木建築業	168	95	39	3	305
其他	485	197	175	21	878
計	1009	485	660	74	1928

生産力擴充及附帶産業
輸出産業生活必需品産業
運輸通信業
土木建築業
其他

計 付卒業者

歸郷軍人及傷痍軍人就職斡旋

男

女

計

一、二三一名

計

計

計

計

計

計

計

計

計

計

計

計

計

計

歸郷軍人

月別	前月ヨリ繰越數	本月中求職數	合計	本月中ノ就職數	斡旋中他府縣事務	未就職數
計	一一〇九八七六五四三二一	一一〇九八七六五四三二一	一一〇九八七六五四三二一	一一〇九八七六五四三二一	一一〇九八七六五四三二一	一一〇九八七六五四三二一
一	10	10	10	10	10	10
二	10	10	10	10	10	10
三	10	10	10	10	10	10
四	10	10	10	10	10	10
五	10	10	10	10	10	10
六	10	10	10	10	10	10
七	10	10	10	10	10	10
八	10	10	10	10	10	10
九	10	10	10	10	10	10
一〇	10	10	10	10	10	10
一一	10	10	10	10	10	10
一二	10	10	10	10	10	10
計	一一〇九八七六五四三二一	一一〇九八七六五四三二一	一一〇九八七六五四三二一	一一〇九八七六五四三二一	一一〇九八七六五四三二一	一一〇九八七六五四三二一

傷痍軍人

月別	前月ヨリ繰越數	本月中求職數	合計	本月中ノ就職數	斡旋中他府縣事務	未就職數
計	一一〇九八七六五四三二一	一一〇九八七六五四三二一	一一〇九八七六五四三二一	一一〇九八七六五四三二一	一一〇九八七六五四三二一	一一〇九八七六五四三二一
一	10	10	10	10	10	10
二	10	10	10	10	10	10
三	10	10	10	10	10	10
四	10	10	10	10	10	10
五	10	10	10	10	10	10
六	10	10	10	10	10	10
七	10	10	10	10	10	10
八	10	10	10	10	10	10
九	10	10	10	10	10	10
一〇	10	10	10	10	10	10
一一	10	10	10	10	10	10
一二	10	10	10	10	10	10
計	一一〇九八七六五四三二一	一一〇九八七六五四三二一	一一〇九八七六五四三二一	一一〇九八七六五四三二一	一一〇九八七六五四三二一	一一〇九八七六五四三二一

(五) 職業補導

イ、製圖工補導

時局の影響を受け離職又は轉職を必要とするもの、又は新に時局産業へ就職せんとするものに製圖の知識技能を與へ、以て就職に便せしむべく製圖工補導所を設置し、昭和十三年十二月その第一回を開きたるが、修了生三〇八名、講師に縣商工課西田技師小林技師、黒崎技師を囑託せり。

- 一、名 稱 新潟國民職業指導所製圖工補導所
- 一、所在地 新潟市古町通六番町新潟ビルディング四階
- 一、定 員 三〇名(男二五名女五名)
- 一、補導期間及時間數

イ、補導期間第七回まで二ヶ月、第十回まで三ヶ月、第十一回より四ヶ月
 ロ、全時間毎日自午後六時至午後十時 四時間

一、補導科目教授時数
 徳育体育 五〇時間 工業學科及製圖學科 一〇〇時間
 製圖實習 二五〇時間 計四〇〇時間

一、設備
 製圖臺、製圖板、製圖器、丁定規、三角定規、雲形定規、曲線定規、木型模型、パス等製圖に必要な一切の器具を設備し、用紙その他の消耗品と共に無料貸與す。

一、昭和十五年申ノ開閉
 開 始 終 了
 回 六 七 八 九 一〇
 日 二月一日 五月一日 八月十二日 十一月二十一日
 日 一月十五日 三月三十日 七月三十一日 十一月十一日
 日 二月二十四日ノ豫定

一、入所及修了者狀況

補導回数	入所申込者数		入所者数		修了者数	
	男	女	男	女	男	女
一	三六	二二	二九	一一	二八	一一
二	七〇	四六	二八	二一	二八	一一
三	七一	一〇	二六	二〇	二六	二〇
四	五二	一〇	二五	二〇	二五	二〇
五	四〇	一三	二五	二〇	二五	二〇
計	二二〇	一三三	二二〇	一三三	二二〇	一三三

計	外地球職者事務(支那語)補導		計		計	
	男	女	男	女	男	女
一	四〇	一一	二二	二二	二二	二二
二	三九	一一	二二	二二	二二	二二
三	四七	一一	二二	二二	二二	二二
四	四六	一一	二二	二二	二二	二二
五	四三	一一	二二	二二	二二	二二
六	三八	一一	二二	二二	二二	二二
七	四七	一一	二二	二二	二二	二二
八	四八	一一	二二	二二	二二	二二
九	四八	一一	二二	二二	二二	二二
一〇	四八	一一	二二	二二	二二	二二
計	四〇〇	一三三	四〇〇	一三三	四〇〇	一三三

管内新潟港は東京、新京聯絡ノ最捷路にして、最近殊に新潟港を利用渡滿する者多く、市民は自然大陸に職を求めんとする狀況に鑑み就職上直接役立つべき支那語の補導を實施し以て大陸求職者の便に資せり。

- 一、補導所名
 新潟國民職業指導所外地求職者事務(支那語)補導所
 一、補導所所在地
 新潟市古町通六番町新潟ビル四階
 一、講師
 南滿洲鐵道株式會社新潟鮮滿支案内所職員
 全 原田信行 仲田周 山口英一

一、入所修了狀況

年度	回別	補導日	期	間	申込人員計	入所人員計	修了人員計
一四	一	七月二十九日	二	ヶ月	三五	三五	三五
一四	一	七月二十九日	二	ヶ月	三五	三五	三五

計	三月二〇日	二月二七日	一月二八日	計	三月二日	二月八日	一月二日	計	三月二日	二月八日	一月二日
男	二	三	三	男	二	三	三	男	二	三	三
女	二	三	三	女	二	三	三	女	二	三	三
計	四	六	六	計	四	六	六	計	四	六	六

(六) 失業對策

イ、一般失業狀況

市町村調査に依る失業狀況は左の如く、支那事變に伴ひ人的資源の缺乏により遂次減少の一路を辿り、而も之等の多くは年齢の關係、身体狀況等よりして就職困難の者にして、今後適切なる指導を必要と認む。

年未別	中 藩 原 郡		西 藩 原 郡		新 瀧 市	
	男	女	男	女	男	女
昭和十一年	九六	二二	九一	三四	八〇〇	八〇〇
昭和十二年	八六	二二	八七	三〇	二八〇	三〇
昭和十三年	一八	二	四五	一七	二〇	一七〇
昭和十四年	一	一	一五	一七	二〇	一〇九
昭和十五年	一	一	四三	三四	二五	一五
計	一九	一九	二二五	一〇七	一、〇四四	九八七
計	二〇	二〇	二二八	一〇七	一、〇四四	九八七

ロ、事變關係轉業狀況

物資統制の強化其他事變の影響遂次各方面に浸潤し、九月以降弗々轉業せんとする求職者顯はれ、年末迄の合計左表の通り、而して本件に就ては關係団体と聯絡を密にし可及的急速の轉換を奨励せるも、種々の關係より指導の線に乗らざる傾向なり。

事變關係離職者斡旋狀況 昭和十五年

離職原因	種 別		性 別		總 來 所 數		就 求 職 狀 況		相 狀		其 他		計
	男	女	男	女	男	女	求職未済	補導施設	授産施設	資金融通	其ノ他		
織維關係	二八	二八	二八	二八	二八	二八	五	三	三				二八
皮革關係	二	二	二	二	二	二							二
護謨關係	八	八	八	八	八	八							八
鐵鋼關係	一六	一六	一六	一六	一六	一六							一六
非鐵金屬關係	四	四	四	四	四	四							四
其ノ他物動關係	一六九	一六九	一六九	一六九	一六九	一六九							一六九
物動以外關係	一六九	一六九	一六九	一六九	一六九	一六九							一六九
計	二八	二八	二八	二八	二八	二八	五	三	三				二八

備考 補導施設ニ依リ補導セルモノハ分部就職セシメタリ	合計	
	男	女
計	三九六	三九六
求人数	二五六	二五六
求人数	一〇三	一〇三
計	二二	二二
計	一六	一六
計	三九六	三九六

月別	ラヂオ放送	
	求人件数	求人数
一月	五八	三五九
二月	一九	九五
三月	八	三七
四月	五	二三
五月	一	一
六月	一	一
七月	一	一
八月	一	一
九月	一	一
十月	一	一
十一月	一	一
十二月	一	一
計	九四	五六八
前年	一七	二、二〇六

月別	(八) 就職者旅客運賃割引證交付数	
一月	一	二
二月	二	三
三月	三	四
四月	四	五
五月	五	六
六月	六	七
七月	七	八
八月	八	九
九月	九	一〇
十月	一〇	一一
十一月	一一	一二
十二月	一二	一三
計	一三	一四

(九) 勞務者補導員活動狀況
 職業紹介所の業務を補強せしむる趣旨を以て、職業協議會新潟縣支會に於て設置したる勞務者補導員にして、當所勤務の者三十三工場、五十二名を算するが、内三井鑛山株式会社山野鑛業所一名を除くの外全部組織關係工場にして、昭和十五年中に於ける募集狀況は左の如し。

工場ノ種類	募集數
紡績工場	九七名
製絲工場	四一名
計	一三八名

四、勞務動員計畫ノ遂行

町村は前年度に於て勞務動員協議會の設置を見たるを以て、本年は専ら其活動を促すこととした。左記指導方針を定め進行せるが、町村に於ても之に協力し逐次成果を収めつゝあり。

昭和十五年度町村勞務動員協議會指導方針

一、總則

一、本年度ニ於テハ勞務供出上最モ實績ヲ擧ゲ得ベクト認メラル左記町村ニ重點ヲ重キ萬全ヲ盡スコト

中蒲原郡 横越・大江山・雨川・龜田
西蒲原郡 内野・赤塚・國上・曾根・黒埼・松野尾・峰岡・彌彦・和納・味方・月瀉・島上
以上ヲ甲町村ト略稱

- 二、他ノ町村ニモ適當ナル措置ヲ講ジ勤勞報國ノ精神ノ昂揚ニ努メ一人ニテモ多クノ供出ヲ求ムルコト
- 三、協議會ノ開催ハ年四期ニ分チ各期一回以上トシ各期共開催目標ヲ定メ其ノ目標事項ヲ協議シ實行セシムルコト
- 四、前年ノ協議會ニ所長出席セザリシ町村ヘハ本年出席スルコト

二、町村分擔

- 一、所員ノ町村受持分擔ヲ別紙ノ如ク定ム
 - 二、受持町村中甲町村ヘハ月二回以上乙町村ヘハ一回以上巡廻スルコト
 - 三、擔任者ハ勞務動員協議會ノ適切ナル指導ハ勿論勞務動員計畫ノ遂行竝ニ町村巡廻規程ノ目的達成ニ遺憾ナキヲ期スルコト
 - 四、擔任者ハ町村内ノ事情知悉ニ努メ何時ニテモ開拓ニ出張シ實績ヲ擧ケ得ベク用意シ置クコト
 - 五、各係ハ統計ノ蒐集文書ノ取纏等ニ町村擔任者ト連絡スルコト
 - 六、擔任者ハ町村ノ常務擔當職員聯絡委員、協議員ト密接ナル接觸ヲ保チ其ノ成績ヲ所長ニ申出ヅルコト
 - 七、擔任者ハ特ニ命ヲ受ケタルトキハ本年ノ小學校卒業業者ノ進路ヲ調査シ未就職者ノ斡旋ニ努ムルコト
青少年雇入制限令ニ違背シテ就職(雇傭)シタルモノナキヤ確メ該當者ハ雇傭先ヲ確ムルコト
 - 八、擔任者ハ職業ニ對スル事變ノ影響ヲ十分查察シ機宜ノ處置ヲ誤ラザル様期スルコト
 - 九、受持ノ農村勞力ノ過不足状態ニ注意シ適切ナル指導ヲ與フルコト
 - 一〇、傷痍軍人、歸郷軍人、軍人遺家族ノ歸趨ニ留意シ遺憾ナカラシムルコト
- 三、勞務動員計畫ノ趣旨徹底
- 一、本年ハ各部落ニ踏ミ込ミ常會ノ際其ノ他機會ヲ設ケテ直接部落民ニ趣旨ノ普及方ニ努ムルコト
 - 二、青年學校ト連絡シテ軍工廠ヘ奉公スルノ氣分ヲ喚氣スルコト
 - 三、必要ニ應ジ軍ノ保官ヲ招聘シ講演懇談會ヲ開催スルコト

- 四、隨時懇談會ヲ開催セシメ職業事情ノ徹底ヲ圖リ供出ニ資スルコト
- 五、求人通報ノ送付方法、ポスター・ピラノ配布方掲示板、立看板ノ利用、新聞廣告ノ方法、湯屋、床屋ノ利用等ニ付研究ヲ遂ゲ協議會トモ協議シ最モ効果的ノ方法ヲ採用スルコト

四、供出可能見込者調

- 一、未提出ノ町村分ハ直ニ提出セシメ整備スルコト
- 二、他ニ出勞シ得ルモノアルカ否カニ付十分調査ヲ遂ケ補正スルコト
- 三、本調査其ノ他不參者、不採用者ノ名簿ヲ調製終始整理シ資源ノ現況ヲ明カナラシムルコト
- 四、小學校卒業業者ノ未就職者調ヲ利用スルコト
- 五、供出人員ノ概定及軍需勞務要員ノ割當
- 一、農村勞力調査ノ結果ト對照シ可及的供出人員ノ概定ヲ爲サシムルコト
- 二、軍需勞務要員ニ就テハ割當制度ヲ採用シ其ノ人員供出ニ努力セシムルコト
- 三、軍需勞務經驗者ノ談話會ヲ開催セシメ供出ニ資スルコト
- 四、工場視察ヲ行ハシムルコト
- 六、生擴其ノ他要員ノ充足
- 一、石炭山勞務者ノ供出ニ最モ意ヲ注キ協議會ヲ通シ見込町村ニ映畫會經驗者ノ事情懇談會等ヲ開催シ又ハ見學ヲ爲ス等關心ヲ昂メシムルコト、又勤勞報國隊ノ如キヲ組織シ出勞セシムルコト
- 二、織維工業ノ女子勞務者ノ供出ニ付テハ婦人會女子青年團ト連絡ヲ保タシメ團體出勞ノ方法ヲ講スルコト
- 三、工場視察ヲ行ハシムルコト
- 七、季節出稼者ノ斡旋
- 一、季節出稼者ハ總テ時局産業ニ向ケシムルコト
- 二、出稼可能見込者ニ付テハ九月末日迄ニ調査ヲ遂ゲ配置上ニ遺憾ナカラシムルコト
- 八、出勞者ノ保護補導

- 一、出券者ニ對シテハ出發ノ際精神鼓吹、歡送ニ努メシムルコト
- 二、出券後ハ通信輔導、其ノ他郷里ノ便リ等ヲ行ハシムルコト
- 三、必要ニ應ジ訪問輔導ヲ爲サシムルコト
- 四、家庭ノ見廻リニ遺憾ナカラシムルコト
- 五、歸郷後ハ懇談會等ヲ開催シ慰安ト今後ノ開拓ニ資セシムルコト

五、國民登録及勞務規制

(一) 國民登録

施行第二年度を迎へ時局の急迫化と共に本制度は一段と重要性を帯びることとなり、青年國民登録制の實施、申報期限其の他の改正、指定職種の擴大追加等矢繼早に關係規定の公布を見、之が趣旨の普及宣傳登錄其の他非常なる事務の煩瑣を來したるのであるが、其の狀況は左の通りである。

國民登録

(一) 臨檢

管内の一部の場所に對し査察並指導を目的とし、従業者雇入制限、青少年雇入制限を併せ七月四日より一齊臨檢を行ひ、八月二十八日終了を見たのであるが、其の概要は左の通である。

臨檢したる場所	總數	調査せらるる者	人
過念なきもの	九七	一、三三二	二七七
尚慮ありたるもの	四九	五、四五二	
總數	一四六	六、七八四	

以上違反數も相當有つたのであるが、第一回目の臨檢でもあり比較的惡質のものも無かつたので、何れも戒告處分に止め置かれた。

(二) 關係規程の改正徹底

十月十六日勅令第六七三號並同十九日厚生省令第四二號を以て申告令及全施行規中一部改正せられ、申報書の期限の短縮

申告事項、報告様式等に付ても相當變更を見たのであるが、當所に於ては十月二十一日午前十時より當所分室に於て關係の管内町村主務者會議に於て其の概要に付き説明し、更に是等の要點に平易なる説明を附し、十二月十二日市町村及關係組合並主要工場、事業場に通知し、之が周知徹底方に付協力を求めた。

(三) 家屋大工外指定職種の追加

十一月十三日厚生省告示第三五四號を以て申告を要する指定職業として、新に家屋大工、左官、寫職が追加せられたのであるが、當所に於ては十一月十九日宣傳用リーフレットを送市町村並關係組合に通知周知徹底方を依頼せる結果、大體十二月中旬迄に是等の登録を了するを得た。

(四) 取扱件數

本年中に於て取扱ひたる申告、異動等の件數合計一、二三一又十二月末に於ける登録者現在數は昨年末に比し約二割三分の増加となつてゐる。

青年國民登録

本制度は十月十九日厚生省告示第三二二號並厚生省令第四三號を以て關係規定公布實施せらるることとなり、第一回目本年の申告は十月末日現在を以て十一月十日迄に之を爲すこととせられたのであるが、當所に於ける之が趣旨の普及徹底其の他關係事項は左の通である。

事務打合せ

十月二十一日午前十時より當所分室に於て開催の管内町村主務者會議に於て打合せ。

宣傳

イ、リーフレット「青年國民登録に就て」の配布

十月二十三日約一、〇〇〇枚市町村に送付配布方依頼す

ロ、ポスターの配布

十月二十八日二〇〇枚市町村に送付配布方依頼、十一月四日管内十四町へ各一枚宛送付揭示方依頼す

立看板の掲出

十一月四日管内九主要市町村に各一本宛送付届出方依頼、外に一本當所前に届出す
在郷軍人職業申告の證明

陸軍在郷軍人の職業申告制實施に伴ひ、申告者は其の申告せんとする職業、職歴等に關する事項に付國民職業指導所長の證明を受くるを要することゝせられたのであるが、當所に於て本年中に取扱ひたる是等の件数は四一三であつた。

従業者移動防止

従業者の移動防止に付ては施行後の經驗に徴し、之が徹底強化の必要痛感さるゝに至り、昭和十五年十一月九日勅令第七五〇號を以て従業者移動防止令公布せられ、同年十一月二十日より實施されたり。

従つて同日以後は従來の従業者雇入制限令は廢止せられ、雇入制限の對象たる従業者の範圍を擴張すると共に、移動防止方策が強化さるゝことゝなりたり。而して之が周知徹底に付ては左記方法に依りたるものにして、尙之が事務取扱の件数並に臨檢結果の數字を掲ぐれば左記の通り

- 一、従業者移動防止令普及に付き採りたる方法
- (一) 懇談會、新潟市公會堂に於て十一月二十五日開催せる懇談會には管内主なる工場事業場の業主及其の處の従業者の代表者に參集を求めたり
- (二) 説明會、管内町村中特に關係業者多数在る方面(小池村・燕町・地藏堂町)に於て關係者を集め懇談會を開催せり
- (三) パンフレット及リーフレットの配付

町村並に關係組合及管内主なる關係業者に配付趣旨の普及徹底に努めたり
二、従業者雇入認可申請に付取扱ひたる件数及雇入報告數 (但し認可紹介所として取扱件数なり)

月別	認可申請數		雇入報告數		認可申請數		雇入報告數	
	認可數	不認可數	認可數	不認可數	認可數	不認可數	認可數	不認可數
一月	二	一	一三	一	一	一	二	一
二月	三	一	二六	一	九	一	三五	一
三月	三	一	一一	一	八	一	四五	一
四月	三	一	二二	一	一〇	一	四九	一
計	一一	四	七二	四	三〇	四	一五二	四

月	認可申請數	雇入報告數
五月	三	二
六月	六	三
計	一一	五

三、従業者雇入制限令に關する臨檢

臨檢年月日	臨檢區域	臨檢件數	違反件數	處分
七月四日・五日・一八日	小池村	二三	五	戒告
七月二十四日・二五日	吉田町	一一	二	ナシ
七月二六日・二七日	巻町	一〇	二	ナシ
八月二〇日・八月二八日	新潟市	五六	一三	戒告

(三) 勞務動態調査

勞務動態調査は年二回、六月と十二月に行はれることになり居りたる處、昭和十五年六月に於て調査期日は三月と九月に改正せられたり。

依て本年中に二回調査あるべきところ、結局九月末日現在の調査(國勢調査事務との幅轍を避くるため今回に限り調査期日を十月末日に指定)を以て終了せられ、本調査に關しては之が趣旨の普及徹底並に調査の正確を期するため、プロック別に町村主務者の事務打合せ及調査票の集合検査を施行せり。

- 一、事務打合せ
 - 昭和十五年十月十五日 於巻出張所(巻町中心近郷)
 - 全 十月十六日 於本所分室(新潟市中心近郷)
- 二、集合検査
 - 昭和十五年十一月二十日 於新潟國民職業指導所(新潟市中心近郷)
 - 全 十一月二十一日 於燕町役場、吉田町役場、會根町役場、巻出張所(各町中心近郷)

青少年雇入制限令

本令は勞務者不足の今日重要産業に於ける勞務者の充足を確保するため、勞務者の雇入に付或る程度の制限を加へ、國家總動員法第六條に基き昭和十五年二月一日公布され、三月一日より最上重要な方面へ勞務者を配置するの方策として、國家總動員法第六條に基き昭和十五年二月一日公布され、三月一日より實施されたり。

實施後十五年中に於ける之が取扱狀況別表の通り

一、宣傳狀況

(一) 市町村主務者事務打合せ

三月十二日 於本所分室

(二) 懇談會

三月二十三日

四月一日

八月

十七日

二十六日

二十六日

(三) リーフレットの作製配付

本令に關し解り易く平易に説明を加へ六、〇〇〇枚作製管内に配付せり

二、町村勞務員協議會の利用

本令制定の趣旨を説明周知宣傳を圖ると共に、勞務動員計畫遂行の重要性再認識に努めたり。

三、管内小學校に對しリーフレット及パンフレットを送付し、兒童と父兄に普及徹底を圖る。

四、査察に便ならしむるため指定期日に於ける青少年雇入員數を勞務動態調査票より寫し取り、カード式に之を整理し置き査察臨檢の際參考として持參することとせり。

新潟市 内野町 燕町 卷町 岩室村 地藏堂町

青少年雇入制限申請件數

種別	月別			
	三月	四月	五月	六月
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一	一	二	一
女子	一	一	二	一
計	一九	一一	二四	一四
内地以外	一	一	二	一
就外職	一	一	二	一
特子	一</			

附 違反件数二十四件、注意戒告ニ止ム

種別	三月		四月		五月		六月		七月		八月		九月		十月		十一月		十二月		計
	申請件数	認可件数	申請件数	認可件数	申請件数	認可件数	申請件数	認可件数	申請件数	認可件数	申請件数	認可件数	申請件数	認可件数	申請件数	認可件数	申請件数	認可件数	申請件数	認可件数	
工業	2	2	4	4	4	7	1	5	4	7	1	8	3	4	3	5	3	6	1	4	20
商業	1	1	7	9	1	7	1	3	4	4	2	1	1	3	2	6	1	4	4	1	27
交通	1	1	3	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	28
公務	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5
其他ノ業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4
違反件数計	二十四件 全部注意又ハ戒告																				

六、庶務

(一) 市町村事務擔任者及聯絡委員會

一、左記の通り管内を數アロツクに分ち所長及所員出席、管内市町村吏員並聯絡委員の會議を開催し、別記事項に關し打合を爲したり。

- 九月十一日 新潟市本所分室
- 九月十二日 西蒲原郡黒埼村役場及中蒲原郡亀田町役場
- 九月十三日 郡會根町役場及同燕町役場
- 九月十四日 郡卷町役場及同吉田町役場

協議事項

- 勞務動員計畫ノ遂行ニ關スル件
- 陸海軍勞務要員充足特定期間實施ニ關スル件
- 季節勞務者ノ供出ニ關スル件
- 歸郷軍人傷痍軍人ノ就職斡旋ニ關スル件
- 小學校卒業者ノ職業指導並ニ就職斡旋ニ關スル件
- 國民徵用令ニ關スル件
- 國民登錄ニ關スル件
- 從業者雇入制限ニ關スル件
- 青少年雇入制限ニ關スル件
- 女子勞務者ノ就勞勸奨ニ關スル件
- 勞務動態調査ニ關スル件
- 失業對策ニ關スル件

屬ニ任ス 地方課勤務ヲ命ス
依願解雇
長岡職業紹介所職業主事補ニ任ス

(七月十五日)
(九月七日)
(十月八日)

主事補
主事補

高田

橋邊

義卜

一ヨ次

14.5
929

昭和十六年十月二十五日印刷
昭和十六年十月三十一日發行

代 曆 寫

發行所 新潟國民職業指導所
新潟市西堀通三番町八〇七番地ノ五

印刷人 村上龍三
新潟市西堀前通六番町九〇五番地

印刷所 兄弟堂
新潟市西堀前通六番町九〇五番地

115
909



